

セルロイド圧搾用試験機が未来技術遺産に登録されました！



セルロイド圧搾用試験機

2019年9月10日付で、当社の「セルロイド圧搾用試験機」が、独立行政法人 国立科学博物館の「重要科学技術史資料(未来技術遺産)」に登録されました。

セルロイドは、プラスチックの原点ともいわれ、ダイセルの祖業です。今回登録されたセルロイド圧搾用試験機は、セルロイドを製造する工程の中で、混ぜ合わせた硝化綿と樟脳を加熱・加圧してブロックにする役割を担っていました。

なお、このセルロイド圧搾用試験機は、1954年に国栄機械製作所(現・グローリー株式会社)によって製作され、現在は当社の姫路製造所 網干工場(兵庫県姫路市)に保管されております。このたびの登録にあたっては「日本のセルロイド工業の発祥・隆盛を現在に伝えるものとして重要である」と評価されました。

【重要科学技術史資料(未来技術遺産)とは】

歴史上重要な成果を示し、次世代に継承していく重要な意義を持つものや、国民生活、経済、社会、文化に大きな影響を与えた科学技術資料の保存と活用を目的に、国立科学博物館が2008年度より行っています。2019年度は本資料を含め26件が登録され、登録件数は合計285件となりました。